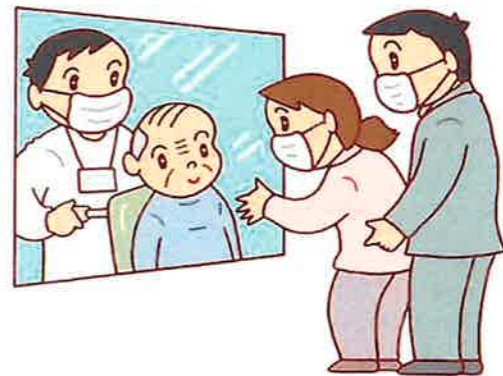


## 久しぶりの面会

七月四日(月)から、およそ半年ぶりに面会が再開され、久しぶりの面会を皆さん楽しませていました。現在は新型コロナウイルス感染症の新規感染者が過去最高を記録するなど第七派の急拡大に伴い、七月二十五日の週から再び面会を中止しています。



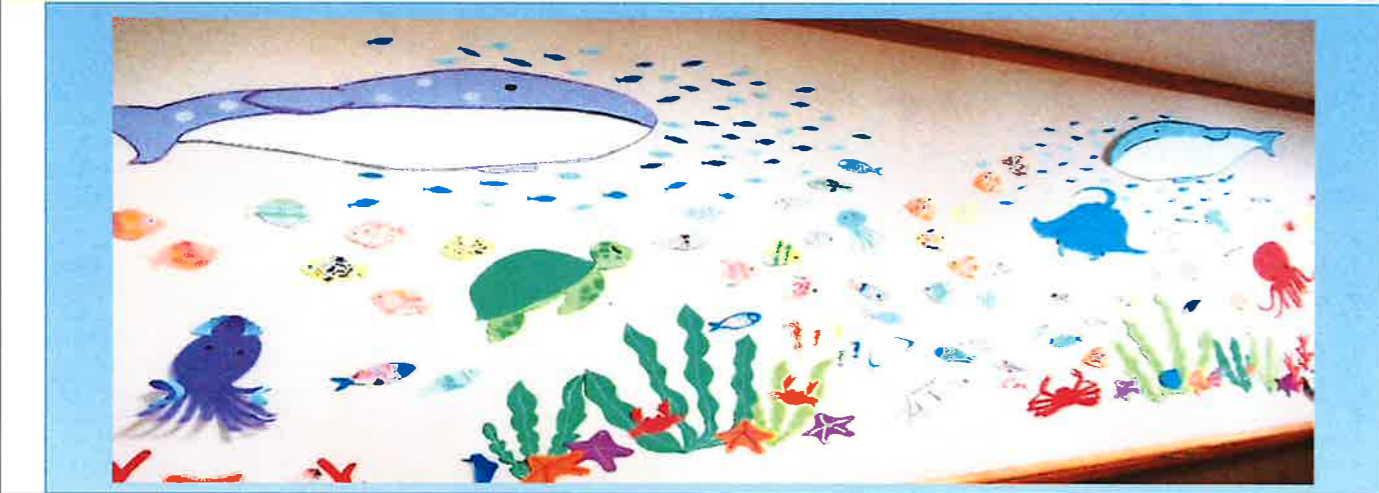
前回はリモートでの面会で、画面越しでは家族の顔が見づらいのか上手く認識できず、もどかしい思いをした方もいらっしゃったので、今回はガラス越しでの面会を実施しました。入所者様からは、「よく来たなあ。元気だったか？」など、家族に対しての嬉しい言葉が自然に出て、笑顔になる方も多く、中には泣いて喜ばれている方もいました。短期間の面会でしたが、ガラス越しでも家族の顔を見ながら話ができただけで、皆さんの力になったのではないかと思います。

## 通所の作品作り

通所では、以前から利用者様と一緒に作品作りをしています。職員が手軽に作れそうな物を探し、試作してから作品作りの時間に作ってもらっています。

作品には独創性があり、職員からは思いもつかないようなアイデアを利用者様が出し、試行錯誤しながら、一生懸命作業しています。作業風景を見ると、他利用者様と笑いながら作っている方、一人黙々と作る方と利用者様の性格がいま見れ楽しい時間になっています。完成した作品を見る事で自分の作った所を見つけて喜んだり、他の人の作品を見て刺激を受け、自分もうまく作りたい等感じているようで、次の作品作りへの意欲に繋がっているようです。

今後楽しい製作の時間になったらと思います。



## 避難訓練



施設では、災害が起きた際に入所者様の安全を図るために、年二回の避難訓練を実施しています。六月十四日の訓練では、火災発生を想定して行いました。事前に入所者様への説明を行ってからの訓練でしたが、終了後に「訓練とわかっていても非常ベルの音が聞こえるとドキドキする」「また、『昔、学生時代に火事を目の当たりにした事があったけど、おっかねもんだよ』と話してくれました。



## 今年も巣作りに きました♪

当施設では春の陽気が心地よい時期になると、入所者様が居室から見えるよう中庭へプランターを置き花を植えています。ここ数年、春になるとその中庭にセグロセキレイという白と黒の小鳥が巣を作り、『ピヨピヨ』とかわいひヒナの鳴き声が聞こえます。

今年も、鉢植えの中に巣を作っており、雨の日は濡れないように軒先に移動させ、数日後には元気に巣立ってくれました。職員や入所者様共に春の楽しみの一つです。

黒石市の鳥はピヨ



## 新人紹介

最上 忍さん

(理学療法士)  
長年の経験を生かして利用者様の生活の援助ができればと思っています。また、元気に楽しく仕事をしたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。

福山 綾さん

(介護福祉士)  
入所者様や業務を早く覚えて、いつも笑顔で対応できるように心掛けていきたいと思っています。趣味は、美味しいラーメンを食べる事、YouTubeを見たりする事が好きです。

## 入所者様の日課

入所者の横山さんは入所前から、自宅で盆栽の手入れを日課にしています。

入所後も規模は小さいものの継続しています。季節によって花が咲く物や、背丈が伸びる物があつたりと、成長の変化を楽しみにしています。水やりをしている時は穏やかなやさしい表情です。現在はもみじの手入れをしていて、話しかけながらの作業の結果、こんなに生き生き育っています。毎日愛情を注いでもらい幸せな盆栽です。



## 編集後記

ナナカマドの実も赤く色づいてきました。これもこれから寒い日も多くなってきました。体調には気を付けましょう。